

議長		副議長		局長		補佐		係長		係員	
----	--	-----	--	----	--	----	--	----	--	----	--

令和 8年 3月 19日

多賀城市議会議長 殿

会派名 自由民主党多賀城市議団

代表者名 鈴木 新津男



調査研究報告書

このことについて、下記のとおり実施したので、概要を報告します。

記

1 報告者（参加者）

- | | | | |
|---------------|---|-----------|---|
| (1) 代表 鈴木 新津男 | ① | (5) 大内 裕太 | ② |
| (2) 佐藤 雅博 | ③ | (6) 本間 圭 | ④ |
| (3) 千葉 文昭 | ⑤ | (7) | ⑥ |
| (4) 大場 和晃 | ⑦ | (8) | ⑧ |

2 調査研究の概要

- 調査期間：令和 8年 3月 13日（金）
- 調査目的：ミサワホームのまちづくりについて
- 調査手法：視察調査
- 行程又は日程：添付行程表のとおり
- 調査先及び調査事項

調査日時	調査先	調査事項及び現地視察の有無
13日（金） 9：30～11：30	東京都杉並区高井戸 ミサワパーク東京	①多賀城のまちづくりについて ②住まいに関わる先進技術、住宅性能、デザインについて

- 調査資料：添付調査先作成資料のとおり

3 調査の概要

別紙のとおり

4 所感（今後の市政に資する点）

別紙のとおり





■概要

本調査では、ミサワパーク東京における体験型施設の運営手法及び、同社が提唱する「あすまち (ASMACHI)」のまちづくりの考え方について説明を受けるとともに、多賀城市における開発構想との関連について理解を深めた。

ミサワパーク東京は、単なる住宅展示・販売の場ではなく、住宅性能や技術、同社の理念や取組を来訪者が体験を通じて理解できる施設であり、専門的で分かりにくい内容を視覚的・体感的に伝えることで、理解と納得を醸成する情報発信拠点として機能している。

また、「あすまち」は、住宅を基盤としながら、商業、医療、子育て、交流機能等を複合的に配置し、生活利便性の向上と地域コミュニティの形成を同時に図るまちづくりの考え方である。単なる施設整備にとどまらず、人の流れや交流を生み出し、持続的な地域価値の向上を目指す点に特徴がある。

多賀城市におけるプロジェクトについては、駅周辺の立地特性を活かし、住宅を基盤としつつ、商業、生活利便、医療、子育て、交流機能等を一体的に配置する複合的なまちづくりを目指す構想である。「あすまち」の考え方にに基づき、日常生活の利便性向上と多世代の交流促進を図ることで、地域の価値向上及び賑わい創出に寄与する方向性が示されている。

さらに、居住機能と都市機能を一体的に整備し、生活に必要な機能を集約することにより、持続可能なまちづくりの実現を図るとともに、定住人口の増加や地域経済の活性化への波及効果が期待される。現在、具体的な土地利用や施設内容等について関係機関との協議が進められている。

■所感

本視察では、ミサワパーク東京における体験型の情報発信手法と、「あすまち」による複合的なまちづくりの考え方について理解を深めることができた。

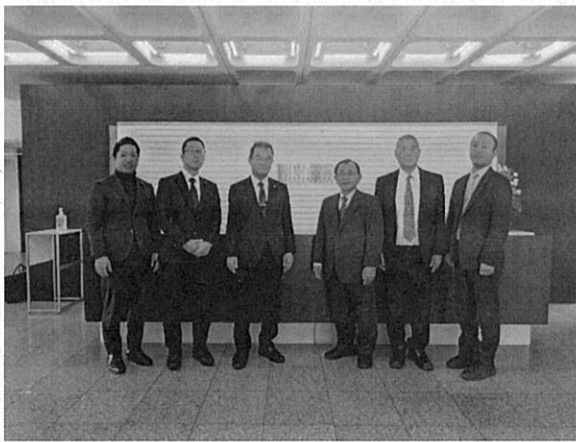
ミサワパーク東京においては、住宅性能や技術といった専門的な内容について、来訪者が実際に体験することで直感的に理解できる仕組みが整備されており、情報を「伝える」だけでなく「納得につなげる」手法として有効であると認識した。行政においても、施策や計画の内容を市民に分かりやすく伝える観点から、このような体験型・参加型の情報発信手法は参考になるものと考えられる。

また、「あすまち」の考え方は、住宅を基盤としながら多様な都市機能を一体的に整備することで、地域の利便性向上と交流の創出を図り、持続的な地域価値の

向上を目指すものであり、人口減少社会におけるまちづくりの有効な方向性の一つであると考えられる。

多賀城市におけるプロジェクトについては、これらの考え方を踏まえ、駅周辺の立地特性を活かした複合的なまちづくりを推進することで、中心市街地の活性化や生活利便性の向上、さらには新たな賑わいの創出につながる可能性がある。また、居住機能と都市機能の一体的整備により、定住人口の増加や地域経済の活性化といった効果も期待される。

現在は具体的な内容について関係機関との協議が進められている段階であり、今後の検討の進展を注視するとともに、本市としても今回の視察で得られた知見を今後のまちづくりや施策の検討に活かしていく必要がある。



ミサワパーク東京